年間授業計画

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　　美術　　科目 ビジュアルデザイン

教　科：美術　　科　目：ビジュアルデザイン　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　2 組

教科担当者：（1，２組：　）（1，２組：　）（1，２組：　）（　組：　）（　組：　）（　組：　）

使用教科書：（　　）

教科　美術　　の目標：

【知識及び技能】美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに，独創的・創造的に表すことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ，創造的な思考力，判断力，表現力等を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み，感性を磨き，美術文化の継承，発展，創造に寄与する態度を養う。

科目　ビジュアルデザイン　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
視覚的な伝達効果について理解を深めるとともに，専門的な知識や技能を身に付けるようにする。	表現及び鑑賞に関する創造的な思考力，判断力，表現力等を育成する。	ヴィジュアルデザインの可能性を追求する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	単元　平面構成（有彩・無彩） 【知識及び技能】 アクリルガッシュ絵具の特性や使い方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な見方・考え方を基に、画材の使い方を工夫しながら表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりに取り組む。	・指導事項　観察の要点、気づき　の提案　道具の特性について ・教材　アクリルガッシュ絵具、ケント紙、木製パネル、配色カード ・タブレット端末で作品記録し、振り返りに活かす		○		○	【知識・技能】 　アクリルガッシュ絵具の特徴を知り、基本的な使い方を習得する。 【思考・判断・表現】 自由曲線を活かし、自己のイメージに合わせて画面を構成し色彩豊かに表現することができる。	○	○	○	13
	単元　平面構成（モチーフ構成） 【知識及び技能】 アクリルガッシュ絵具の特性や使い方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な見方・考え方を基に、画材の使い方を工夫しながら表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりに取り組む。	・指導事項　観察の要点、気づきの提案　道具の特性について ・教材　アクリルガッシュ絵具、ケント紙、木製パネル、配色カード ・タブレット端末で作品記録し、振り返りに活かす		○		○	【知識・技能】 　アクリルガッシュ絵具の特徴を知り、基本的な使い方を習得する。 【思考・判断・表現】 自由曲線を活かし、自己のイメージに合わせて画面を構成し色彩豊かに表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりに取り組むことができる。	○	○	○	25
	単元　平面構成（モチーフ構成） 【知識及び技能】 アクリルガッシュ絵具の特性や使い方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な見方・考え方を基に、画材の使い方を工夫しながら表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりに取り組む。	・指導事項　観察の要点、気づきの提案　道具の特性について ・教材　アクリルガッシュ絵具、ケント紙、木製パネル、配色カード ・タブレット端末で作品記録し、振り返りに活かす		○		○	【知識・技能】 　アクリルガッシュ絵具の特徴を知り、基本的な使い方を習得する。 【思考・判断・表現】 モチーフの特性を活かし、自己のイメージに合わせて画面を構成し色彩豊かに表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりに取り組むことができる。	○	○	○	14
3学期	単元　平面構成（モチーフ構成） 【知識及び技能】 アクリルガッシュ絵具の特性や使い方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な見方・考え方を基に、画材の使い方を工夫しながら表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりに取り組む。	・指導事項　観察の要点、気づきの提案　道具の特性について ・教材　アクリルガッシュ絵具、ケント紙、木製パネル、配色カード ・タブレット端末で作品記録し、振り返りに活かす		○		○	【知識・技能】 　アクリルガッシュ絵具の特徴を知り、基本的な使い方を習得する。 【思考・判断・表現】 モチーフの特性活かし、自己のイメージに合わせて画面を構成し色彩豊かに表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりに取り組むことができる。	○	○	○	13
	単元　ｼﾙｸｽｸﾘｰﾝ 【知識及び技能】 ｼﾙｸｽｸﾘｰﾝとフォントにつて、特性や使い方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な見方・考え方を基に、画材の使い方を工夫しながら表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりに取り組む。	・指導事項　観察の要点、気づきの提案　道具の特性について ・教材　アルミ枠、ｼﾙｸｽｸﾘｰﾝ、モンセンフォント辞典、コピー機 ・タブレット端末で作品記録し、振り返りに活かす		○		○	【知識・技能】 　ｼﾙｸｽｸﾘｰﾝとフォントについて特徴を知り、基本的な使い方を習得する。 【思考・判断・表現】 自由曲線を活かし、自己のイメージに合わせて画面を構成しｼﾙｸｽｸﾘｰﾝを用いて色彩豊かにを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりに取り組むことができる。	○	○	○	40
											合計
											105